

みどり  
水土里ネット みやぎ

# 土地改良広報

## 謹賀新年

2018

1

写真：登米市

第4回みやぎのふるさと農美里（のんびり）フォトコンテスト  
【ふるさと賞】 伝統を引き継いで

### トピックス

- P 2 新春挨拶
- P 9 平成29年度 第3回理事会を開催しました
- P 9 平成29年度 第3回・第4回監事会を開催しました
- P 10 平成29年度 第4回理事会を開催しました
- P 11 平成29年度 宮城県土地改良大会を開催しました
- P 14 「農業農村の集い」が開催されました
- P 15 農業農村整備関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生復興に関する要請活動を実施しました
- P 16 第22回七夕まつり“こどもに夢を”を開催しました
- P 17 平成29年度 海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業を実施しました
- P 18 平成29年度 土地改良区職員研修会を開催しました
- P 18 平成29年度 土地改良区役員研修会を開催しました
- P 19 平成29年度 ふるさと水と土基金全国研修会が開催されました
- P 20 第40回全国土地改良大会静岡大会が開催されました
- P 22 「みやぎ水土里ネット女性の会」を設立しました
- P 23 「大規模災害時における情報共有ネットワークに関する協定」が8土地改良区間で締結されました

- P 24 水管理システム「仙台東地区」中央管理所・仙台東土地改良区事務所建設工事安全祈願祭並びに起工式が開催されました
- P 25 平成29年度 インターンシップ事業を実施しました
- P 26 第12回内川水土里の路ウォークが開催されました
- P 27 第29回宮城地区まつりが開催されました
- P 27 救命講習会を開催しました
- P 28 防災避難訓練並びに情報伝達訓練を実施しました
- P 29 平成29年秋の叙勲、平成29年文化の日表彰

### 土地改良区めぐり ～シリーズ25～

- P 30 鳴瀬土地改良区（東松島市）

### おしらせ

- P 31 第41回全国土地改良大会宮城大会を開催します
- P 33 平成29年度 本会職員の換地士合格者発表
- P 33 本会役員の就退任関係、本会会員代表者の就退任関係
- P 35 連合会日誌
- P 35 今後の行事予定



## 新年のご挨拶

宮城県土地改良事業団体連合会  
(水土里ネットみやぎ)

会長 伊藤 康志

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

東日本大震災から6年10ヶ月が経過し、この間、各関係機関のご尽力により被災地の復旧・復興は着実に進んでおりますことに感謝申し上げます。

現在、農業・農村では、本格的な人口減少社会の到来によって、過疎化や高齢化、担い手不足等による農地の荒廃が進み、農地・農業水利施設等の管理や営農の継続が困難になってきており、今後更に進んでいくことが想定されます。農業を魅力ある産業としていくためには、儲かる農業を目指した高収益作物の導入や低コスト化、農地の集積、大区画化・汎用化等の農地整備、適時適切な農業水利施設等の維持補修・更新が必要となっています。加えて、ため池を含む農業水利施設等の老朽化が進む中、大規模地震の発生や気候変動による豪雨災害が多発しており、国民の生命と財産を守るためにも、ため池等の耐震化や洪水被害防止対策などの農村地域の防災・減災対策の推進が重要な課題となっております。

このような中、土地改良関係予算については、平成29年度補正予算と平成30年度当初予算を合わせて、5,800億円となり、大幅減額となった平成22年度以前の水準まで回復してきているものの、当初予算ベースでは以前の予算に達していません。平成30年度以降においても現場のニーズに適切に対応し安定的・計画的な事業推進のため、引き続き強力に要請を行い、現場からの声を届けていく所存であります。

平成30年10月16日には、“先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に水土里の絆 復興の歩み”をテーマに第41回全国土地改良大会宮城大会を利府町にある宮城県総合運動公園「グランディ 21」にて開催いたします。同大会では、農業・農村の重要性と「農」や「食」、「環境」を支える基盤となる土地改良事業（農業農村整備）の価値や役割を広く国民に理解していただくとともに、全国から多くの支援を受け東日本大震災から復興した本県の農業・農村の姿を全国の農業者、水土里ネット、行政関係者などに広く発信し感謝することを目的として全国各地から多くの皆様にお越しいただけるよう、職員一丸となって準備を進めているところです。

昨年は東北で初となる「世界農業遺産」に、大崎地域（大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町）の「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が認定されました。大崎地域は、江合川、鳴瀬川の流域に広がる水田農業地帯として発展してきた地域で、「やませ」による冷害や地形的要因による洪水、渇水が頻発する厳しい自然環境の中、取水堰や水路、ため池などの水利施設を流域全体に築くことで、巧みな水管理を柱とした水田農業が展開され、「大崎耕土」と称される豊饒の大地を形成してきました。また、水田の中に浮かぶ森のような屋敷林「居久根」が豊かな生態系を育み、多様な動植物が存在する独特の農村景観農業が育む文化、生物多様性が一体となった農業システムが、未来に残すべき「生きた遺産」として世界農業遺産に認定されたことは誠に喜ばしいことであります。

我々水土里ネットみやぎは、この大きな時代の変革の中で、人間の存在に欠かすことのできない「水・土・里」を未来に継承していく使命のもと、東日本大震災からの復興と力強い農業農村整備事業の実現に向けて積極的に取り組んでまいりますので、関係する皆様方のお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様にとりまして佳き年となりますよう、ご健勝とご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





## 復興の総仕上げに向けて

宮城県知事 村井 嘉 浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨秋に行われた知事選挙において、私は県民の皆様の御支持をいただき、引き続き県政運営を担わせていただくことになりました。4期目の重責を痛感するとともに、選挙期間中にお聞きした県民の皆様の声に応えるため、県政の様々な課題に力強く、きめ細かく着実に取り組んでまいります。

去年は、全国高等学校総合体育大会「南東北インターハイ」や全国高等学校総合文化祭「みやぎ総文2017」が開催され、本県高校生の活躍が私たち県民に多くの感動を与えてくれました。また、全国和牛能力共進会宮城大会では宮城の代表牛が「第2区」で堂々の一位に輝き、仙台牛の品質の高さを日本全国へアピールすることができました。

大崎地域においては、「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が東北で初めて「世界農業遺産」に認定されました。大崎地域（大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町）の巧みな水管理と屋敷林「居久根」による災害に強い農業・農村や豊かな景観の形成、自然と共生する米の生産手法などが国連食糧農業機関(FAO)に高く評価されました。地域の魅力を再発見し、積極的に情報を発信していくことで、大崎地域の都市農村交流やインバウンドの拡大などが期待されます。

さらには、三陸縦貫自動車道の延伸や気仙沼市立病院の新病院開院など、震災からの復興が着実に進み、商用水素ステーションの開設や新ブランド米「だて正夢」のプレデビューなど「創造的な復興」に向け取り組んできた成果が形となって現れた年でした。

今年、「宮城県震災復興計画」の総仕上げとなる「発展期」（3年間）の最初の年になります。「震災復興の総仕上げ」、「地域経済の更なる成長」、「安心していきいきと暮らせる宮城の実現」、「美しく安全なまちづくり」を政策推進の基本として、復興に向けた施策に最優先で取り組むとともに、未来を担う子どもたちへの支援や人口減少対策など地方創生の取組も併せて推進してまいります。

農業・農村については、経営規模の拡大や6次産業化などにより農業経営の強化・発展を図るとともに、農業・農村を力強く支えるサポーターとなる都市住民等との交流を一層推進し、農村地域の活性化を図ります。今後の推進に当たっては、農地の集積や大区画化による大規模経営体の育成等を促進するとともに、収益性の高い農業の実現を目指し、多様な担い手を育成してまいります。また、今年10月には、宮城県土地改良事業団体連合会主催による「全国土地改良大会宮城大会」の開催が予定されております。県としましても、全国に復興した姿を発信する良い機会と思っておりますので、大会の成功に向け支援してまいります。

震災から間もなく7年が経過します。震災前の状態に戻す「復旧」にとどまらない「創造的な復興」をさらに進め、一人一人が輝く、元気な宮城を県民の皆様とともに築き上げてまいりたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。



## 年頭の御挨拶

宮城県議会議員 中 島 源 陽

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。また、組合員の皆様方におかれましては、昨年の秋に収穫を終え、今春の作付けに備えて、冬の寒さに耐えながらその力を蓄えている全ての水田に感謝と、新たなる恵みへの期待を込めていることと思います。

さて、昨年は本県において、第11回全国和牛能力共進会が開催され、本県代表牛が第2区で堂々の日本一に輝くなど、宮城の和牛生産と仙台牛の品質の高さを日本全国へアピールすることができ、約42万人の来場者の皆様と共に成功裏に終えることができました。また、津波被災地でもある夢メッセみやぎを中心とした会場いっぱいにも多くの人々が集い、被災前と変わらない賑わいが創出され、復旧復興の状況を多くの県外の方々にも感じていただけたことと思います。さらには、宮城の新ブランド米「だて正夢」がデビューし、昨年行われた東京での発表会では、多くのマスコミとお客様においでいただき大きな話題となりました。今年からの本格作付けに生産者からも消費者からも大きな期待が集まっているものと思います。そして、年末には大崎地域が東北で初の「世界農業遺産」に認定されました。私たちの祖先が築き上げ、今日まで連綿と繋いできた自然との共生の営みが、世界的に評価されたものであり大変嬉しく思います。今後は、このような農業・農村における価値を最大限に活かしつつ、本県の農業・農村が活力を高めていくことを願っています。

一方、農業を取り巻く情勢の中で、今年からの減反廃止は極めて大きな不安定要因であり、全国的な調整機能が維持されることと共に、本県においても適切な対応がとられることを期待しています。また、農業従事者の高齢化、担い手不足、農作物価格の低迷、農村集落機能の低下など、厳しさを増している課題もあります。県といたしましては、みやぎ食と農の県民条例基本計画の中で「農業を若者があこがれる魅力ある産業に」という目標を掲げ、農地の基盤整備や担い手への集積による大規模経営体の育成、高収益作物の導入、6次産業化などを推進しています。さらには、水田農業の根幹を成す農業水利施設の維持管理や農村や農地の持つ多面的な価値を集落として維持していく取り組みを支援しています。今後とも、宮城の多様な農業が農家の暮らしと農村の原風景を守っていけるよう力を尽くしてまいります。

あの東日本大震災から間もなく7年となります。これまで本県では震災前の状態に戻す「復旧」にとどまらない「創造的な復興」を推進してきました。特に、昨年は、三陸縦貫自動車道が歌津インターチェンジまで北進し、南三陸町の「さんさん商店街」や「ハマレ歌津」などの物産交流拠点施設は大いに賑わいを見せており、また、気仙沼市では「気仙沼市立病院」が移転新築され、震災後の地域医療の拠点として新たなスタートを切りました。そして、今年「宮城県震災復興計画」の総仕上げとなる「発展期（3年間）」の最初の年となります。これまでの復旧・復興に向けた施策に最優先で取り組むとともに、今もなお、仮設住宅に入居している方々の避難生活の早期解消、風評被害対策、産業復興や観光復興、新たなコミュニティの形成、未来を担う子どもたちへの支援や人口減少対策など、様々な問題にも県議会として、その解決に全力で取り組んでまいります。

結びに、この1年が皆様にとりまして幸多き良き年となりますよう、そして、それぞれの営農において自然の恵みを存分に感じる事ができる1年となりますことを祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。





## 年頭の抱負

東北農政局長 木内 岳志

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

平素より農政並びに農業農村整備事業の推進につきまして、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も全国各地で集中豪雨などによる災害が頻発し、東北地方では7月、8月の豪雨などで被害が発生しました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

東日本大震災の発生から、早7年が経過しようとしております。被災した約2万ヘクタールの農地については、約9割で営農が可能な状態に復旧しました。さらに、復旧を契機としたほ場の大区画化や担い手への農地集積を推進するなど、復興・創生が力強く進められています。また、原発事故による影響を受けている地域では、避難指示解除が進みつつあり、これから復旧が本格化してまいります。

農業は国の基です。その農業生産の基盤を整えるのが土地改良であり、多様な農業・農村の持続的発展を支える重要な役割を担っていることは改めて申し上げるまでもありません。現在政府が進めている「農業競争力強化プログラム」では、農業者が自由に経営展開できる環境を整備するとともに、農業者の努力では解決できない構造的な問題を解決することとしており、そのひとつとして「真に必要な基盤整備を円滑に行うための土地改良制度の見直し」を掲げています。本年はこの検討を深めることとしています。

土地改良制度については、昨年9月に土地改良法等を改正し、担い手への農地の集積・集約の加速化に向け、農地中間管理機構が借り入れている農地について、農業者からの申請によらず、都道府県が農業者の費用負担や同意を求めることなく基盤整備事業を実施できる制度を創設しました。また、防災・減災対策の強化や事業実施手続きの簡素化といった使い勝手のよい事業制度を整えました。

これらも含め、農業農村整備においては、農業者による自由な経営、若者が憧れ、誇りを持って従事する強くて豊かな農業と美しく活力ある農村の実現に向け、高収益作物の導入や生産コストの削減に資するよう、ほ場整備事業等を推進し、農地の大区画化、汎用化等を積極的に進めてまいります。

さらに、国土強靱化の観点から、老朽化した農業水利施設の改修、長寿命化を進めるとともに耐震化等の防災・減災対策に取り組んでまいります。

皆様と共に行う国の基盤づくりは、国民の期待と信頼の下に進められています。しかし昨年、残念ながら農政局の一部職員が国民の信頼を裏切る行為を行ったことが明らかになりました。私どもはこれを深く反省し、心を引き締め、改めて再発防止に努めます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって良き一年となることをお祈りするとともに、引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



# 新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会  
(全国水土里ネット)

会長 二階 俊 博

平成三十年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年もまた、多くの災害に見舞われました。七月には九州北部地方を中心として集中豪雨が、また、八月には台風五号が和歌山県に上陸、九月には台風十八号が鹿児島県、高知県、兵庫県に上陸しました。さらに十月になって台風二十一号、二十二号と続けて発生し、沿岸部を中心に非常に大きな被害が発生しました。これらの自然災害は、予期せぬ形で発生し、いずれも多大な被害をもたらしております。被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧が出来ますよう、私どもとしても一体となって全力を尽くしたいと思います。

さて、私は会長に就任以来、民主党政権時代に七割近く削減された状況であった予算をまずは復活させようと、「闘う土地改良」の重要性を訴え、予算獲得に向け本気になって取り組んで参りました。全国の皆様の大きな力によって、平成三十年度当初予算は三百二十八億円の増の四千三百四十八億円、平成二十九年度の補正予算を合わせると、五千八百億円と平成二十二年度の大幅削減を上回る水準となりました。ひとえに皆様方のご尽力の賜であると、心から感謝致します。

また、土地改良の代表を再び国会へ送り込むとの強い決意のもと、一昨年の参議院選挙では、見事進藤さんが当選を果たされました。この選挙活動を通じて、地方のすみずみまで「闘う土地改良」の精神が浸透したと実感いたしております。今後は、進藤さんの活動と連携して、更に一層の浸透が図られるよう念じております。

今、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。

このような状況の中、昨年の通常国会では改正土地改良法が成立し、担い手への農地の集積・集約の加速化に向け、農地中間管理機構と連携した新たな基盤整備事業を実施できる制度が創設されました。また、防災・減災対策の強化や事業実施手続の簡素化といった使い勝手の良い事業制度も整えられました。

私たち土地改良担当者としては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。





## 引き続き「闘う土地改良」で全力

参議院議員 進 藤 金日子

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、佳い年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

私も参議院議員として国政に参画して2回目の新年を迎えました。新年に当たり、常日頃からの皆様のご協力とご理解に心より感謝申し上げますとともに、心を新たにして皆様のご期待に着実に応えることができるよう努力してまいる覚悟です。

昨年も災害の多い年でした。7月の九州北部豪雨災害や秋田の洪水被害をはじめ各地で豪雨や台風による被害がありました。被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧・復興に全力を尽していく必要があります。勿論、東日本大震災や原子力災害への対応についても、引き続きしっかりと対応していくことが重要です。

土地改良にとって本年は、昨年に引き続き重要な年となります。まず米政策大転換元年に対する対応です。第一に、本年から国が米の生産数量目標の各都道府県への配分を廃止することに対する取組です。水田の大区画化や施設管理の省力化等による生産コストの削減を基本として、戦略作物（麦、大豆等）や高収益作物（野菜等）の生産に欠かせない排水改良等の土地改良が不可欠であり、その役割は益々増大していきます。

第二に米の直接支払交付金（10a当たり7,500円の交付）が平成29年度限りで廃止されることに対する取組です。不足している業務用米に対して低米価で供給しつつ、更なる生産コストの削減を進め、総体としての農家の所得が増加する取組が欠かせません。これについても、土地改良の果たす役割が極めて大きいものがあります。

そうした中で、水田作、畑作双方とも生産コストの削減を徹底することが必要となりますが、その削減分が農家の所得に確実に還元される仕組みの構築が重要となります。その一環として農家負担金の少ない土地改良の実施が挙げられます。事業実施時の農家負担金を抑制するとともに、施設管理時の農家賦課金を節減する取組、これらは農家個々人の努力のみでは実現できないことであり、政策的技術と現場技術の双方から、官民挙げてその知見を総動員する必要があると考えます。

年末に閣議決定した土地改良事業関係予算は、全国各地の皆様方の多大なるご尽力もあり平成30年度当初予算で4,348億円（対前年328億円増）の予算を勝ち取ることができました。まだまだ当初予算ベースでは自民党政権復活前の予算に達していませんが、同じく閣議決定した平成29年度補正予算と合わせると5,800億円と前年以上の予算を確保することができました。皆様方の努力に報いるため、今後予算成立に向け最大限の努力を傾注して参ります。

私自身、今年も引き続き「闘う土地改良」の先頭に立たせていただき、全力投球で皆様と一緒に諸課題の解決に向けて専心努力してまいる覚悟を新たにしていくところです。本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

みどり  
水土里ネットみやぎ  
(宮城県土地改良事業団体連合会)



会 長 伊藤 康志  
(大崎市長)



副会長 亀谷 久雄  
(あぶくま川水系角田地区土地改良区理事長)



副会長 鈴木 博  
(石巻市北方土地改良区理事長)



専務理事 高橋 清隆  
(学識経験者)



理 事 加藤 徹  
(学識経験者 宮城大学名誉教授)



理 事 佐々木 正幸  
(白石市土地改良区理事長)



理 事 浅野 元  
(大和町長)



理 事 佐藤 稔  
(仙台東土地改良区理事長)



理 事 菅原 勘一  
(大崎土地改良区理事長)



理 事 菅原 義幸  
(迫川上流土地改良区理事長)



理 事 安部 昭男  
(伊豆沼土地改良区理事長)



総括監事 佐藤 洋治  
(柴田郡村田町外一町澄川土地改良区理事長)



監 事 阿部 定  
(美里東部土地改良区理事長)



監 事 横山 徹  
(鳴瀬土地改良区理事長)

外職員一同



## 平成29年度 第3回理事会を開催しました

本会では、去る10月28日（土）午前11時から平成29年度第3回理事会を開催し、全国土地改良大会（宮城大会）業務の委託契約について外の審議を行いました。

議事は伊藤会長が議長となり、第1号議案から第4号議案までの4案件を上程し、事務局からの内容説明を行い、全議案とも原案通り承認可決されました。

議事終了後、事務局から第40回全国土地改良大会（静岡大会）についての報告等を行い、理事会を終了しました。

なお、当日の提出議案は次のとおりです。



平成29年度第3回理事会の様子

- 第1号議案 全国土地改良大会（宮城大会）業務の委託契約について
- 第2号議案 基本財産の積立停止について
- 第3号議案 平成29年度一般会計収入支出補正予算の専決処分について
- 第4号議案 宮城県土地改良事業団体連合会60周年記念誌の発行について

## 平成29年度 第3回・第4回監事会を開催しました

本会では、去る10月20日（金）に平成29年度第3回監事会、12月6日（水）に第4回監事会を開催しました。

下記の案件について慎重審議がなされ、それぞれ原案通り承認されました。



平成29年度第4回監事会の様子

- 第3回監事会（平成29年10月20日開催）
- 第1号議案 監査結果の処理方法について
  - 第2号議案 平成29年度一般会計収支補正予算の専決処分に係る承認について

- 第4回監事会（平成29年12月6日開催）
- 第1号議案 平成29年度一般会計収支補正予算の専決処分に係る承認について

## 平成29年度 第4回理事会を開催しました

本会では、去る12月6日（水）午後3時から平成29年度第4回理事会を開催し、諸規程等の一部改正及び制定について外の審議を行いました。

議事は伊藤会長が議長となり、第1号議案から第2号議案までの2案件を上程し、事務局からの内容説明を行い、2案件とも原案通り承認可決されました。

第1号議案の諸規程については、処務規程、職員就業規則、育児・介護休業等に関する規程、嘱託職員取扱規程、職員給与規程、会計規程が改正され、事務補助員等取扱規程が制定されました。

議事終了後、阿部監事から平成29年度定期監査等の報告があり、続いて事務局から本会運営プラン（中・長期計画見直し版）について、平成30年度の執行体制について、「みやぎ水土里ネット女性の会（仮称）」の設立について、全国土地改良大会（宮城大会）について、本会会員代表者の変更について、叙勲及び表彰について、報告等がなされ、理事会の一切を終了しました。

なお、当日の提出議案は次のとおりです。

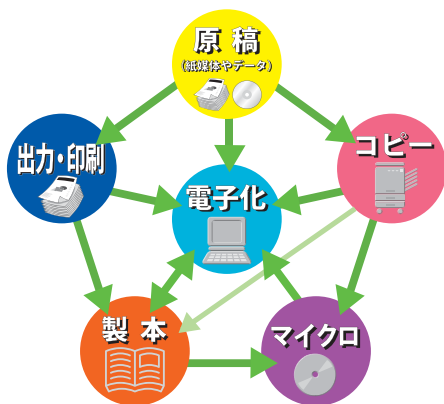


平成29年度第4回理事会の様子

第1号議案 諸規程等の一部改正及び制定について

第2号議案 平成29年度一般会計収入支出補正予算の専決処分について

**セント**では、すべて「ワンストップ」でご要望にお応えします。



**コピーサービス**

カラーコピー 白黒コピー

様々な状態の原稿を、あらゆる技術を使って複製いたします。



**製本・各種加工**

二つ折り製本 黒表紙製本 図面箱

あらゆる製本お任せください。ご要望の仕様用途に合わせて製本いたします。



**電子納品・ファイリング**

各省庁・各県・独立行政法人へ提出する、最終成果品の作成を代行いたします。



**マイクロ作成**

各県・各市・各団体仕様のマイクロ作成いたします。

**オンデマンドプリント・大判出力**

オンデマンドプリント 名刺・DMIはがき  
CADデータ出力 大判出力インクジェット

枚数は少ないけど、キレイに印刷したい。そんなお客様にピッタリ!!



株式会社 **セント**  
仙台市青葉区北根4丁目2-20

PODセンター  
TEL 022-301-5235



# 平成29年度 宮城県土地改良大会を開催しました



主催者挨拶  
(伊藤康志水土里ネットみやぎ会長)

去る8月31日(木)、大河原町の「えずこホール(仙南芸術文化センター)」において、平成29年度宮城県土地改良大会を開催しました。

本大会は、県内の土地改良関係者が一堂に会し、農業農村整備事業の重要性及び現場の要望に十分応えるだけの規模に回復していない同事業予算の現状と将来進むべき方向を再確認し、事業の着実な推進に向け意志統一を図ることを目的に、県内各地より600名を超える土地改良関係者が参集し盛大に開催されました。

当日は、オープニングに平成30年度に開催を予定している第41回全国土地改良大会宮城大会のPR映像を流し、本会大河原支部長である亀谷副会長の開会挨拶、伊藤会長の主催者挨拶と続き、優良団体及び土地改良功労者表彰が行われました。表彰では優良団体1団体、功労者36名、特別表彰1団体に伊藤会長より表彰状が授与されました。

表彰者は以下のとおりです。

## 【平成29年度宮城県土地改良大会・表彰者名簿】

### 1. 優良団体の部表彰(1団体)

支部名	功 績 概 要 等	団 体 名
北 部	体制強化(平成29年9月合併予定)	鶴田川沿岸土地改良区

### 2. 土地改良功労者 役員の部表彰(28名)

支部名	功 勞 概 要 等	役 職 名	氏 名
大河原	永年勤続功労(15年5ヶ月)	あぶくま川水系角田地区土地改良区 理事	柄 目 利 徳
	永年勤続功労(24年)	黒沢尻用水路土地改良区 前理事長	跡 邊 信 吉
	永年勤続功労(24年)	黒沢尻用水路土地改良区 総括監事	平 間 栄
	永年勤続功労(21年11ヶ月)	川崎町土地改良区 副理事長	太 田 多 吉
	永年勤続功労(21年1ヶ月)	川崎町土地改良区 前理事	佐 藤 一 郎
	永年勤続功労(24年5ヶ月)	川崎町土地改良区 理事	丹 野 正 廣
	永年勤続功労(21年11ヶ月)	川崎町土地改良区 理事	眞 壁 茂 信
	永年勤続功労(16年5ヶ月)	川崎町土地改良区 理事	追 木 三 郎
仙 台	永年勤続功労(22年)	秋保町土地改良区 筆頭理事	齋 藤 弘 勝
	永年勤続功労(30年9ヶ月)	富谷北部土地改良区 理事長	佐 藤 克 彦
	永年勤続功労(18年9ヶ月)	富谷北部土地改良区 副理事長	浅 野 忠 美
	永年勤続功労(18年9ヶ月)	富谷北部土地改良区 理事	佐々木 惣一郎

支部名	功 勞 概 要 等	役 職 名	氏 名
北 部	永年勤続功勞 (15年7ヶ月)	真坂土地改良区 理事	佐 藤 均
	永年勤続功勞 (15年7ヶ月)	真坂土地改良区 理事	佐 藤 秀 男
	永年勤続功勞 (15年7ヶ月)	真坂土地改良区 理事	小 野 寺 通 夫
	永年勤続功勞 (15年7ヶ月)	真坂土地改良区 監事	狩 野 和 義
	永年勤続功勞 (16年)	鳴瀬川沿岸土地改良区 理事	田 中 善 章
	永年勤続功勞 (15年9ヶ月)	涌谷町土地改良区 理事	及 川 孝 敏
	永年勤続功勞 (15年3ヶ月)	美里東部土地改良区 理事	繁 泉 勝 弘
	永年勤続功勞 (15年3ヶ月)	美里東部土地改良区 理事	中 塩 栄 一
	永年勤続功勞 (15年3ヶ月)	美里東部土地改良区 理事	佐 野 善 昭
	永年勤続功勞 (15年10ヶ月)	美里東部土地改良区 監事	庄 子 賢 一
東 部	永年勤続功勞 (16年)	北上川沿岸土地改良区 副理事長	佐 藤 新 一
	永年勤続功勞 (16年)	北上川沿岸土地改良区 理事	神 山 惣 一 郎
	永年勤続功勞 (15年11ヶ月)	登米市豊里町土地改良区 理事	山 形 孝 男
	永年勤続功勞 (15年)	迫川沿岸土地改良区 理事	村 田 則 顕
	永年勤続功勞 (15年)	迫川沿岸土地改良区 理事	木 村 忠 市
	永年勤続功勞 (15年4ヶ月)	迫川沿岸土地改良区 監事	佐 藤 秀 夫

### 3. 土地改良功勞者 職員の部表彰 (8名)

支部名	功 勞 概 要 等	役 職 名	氏 名
大河原	永年勤続功勞 (27年)	川崎町土地改良区 主幹兼会計係長	大 宮 美 喜 子
仙 台	永年勤続功勞 (25年)	大郷町 前地域整備課長	櫻 井 孝 則
	永年勤続功勞 (25年7ヶ月)	仙台市大倉川土地改良区 会計主任兼庶務主任	伊 藤 恵 子
	永年勤続功勞 (25年)	秋保町土地改良区 会計主任	佐 藤 さ き み
	永年勤続功勞 (39年)	富谷北部土地改良区 庶務会計主任	安 藤 美 智 子
北 部	永年勤続功勞 (26年)	美里東部土地改良区 工務課長補佐	菅 野 貴
	永年勤続功勞 (26年)	美里東部土地改良区 技師	庄 子 実
東 部	永年勤続功勞 (25年)	石巻市北方土地改良区 事業課係長	三 浦 修

### 4. 特別表彰 (1団体)

支部名	功 績 概 要 等	団 体 名
北 部	世界かんがい施設遺産登録 (内川) 顕彰	大崎土地改良区

続いて、来賓としてご臨席頂いた木内岳志東北農政局長、村井嘉浩宮城県知事、西村明宏衆議院議員、和田政宗参議院議員、進藤金日子参議院議員から祝辞を頂戴しました。

来賓祝辞 (村井嘉浩宮城県知事)







その後、休憩を挟んで基調講演及び事例報告があり、高橋専務理事の朗読による大会宣言、蔵王町土地改良区の樋口理事長の発声によるガンバロウ三唱が行われ、本会東部支部長である鈴木副会長の閉会挨拶により大会の一切は盛会のうち終了となりました。

ガンバロウ三唱（樋口俊彦蔵王町土地改良区理事長）

基調講演の演題及び講師、事例報告の演題及び報告者、大会宣言の全文は以下のとおりです。

【基調講演】

『土地改良制度の見直しと国土強靱化の推進』

農林水産省農村振興局整備部設計課 計画調整室長 川村文洋

【事例報告】

①『～地域と共に歩む管理体制を目指して～

国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）』

あぶくま川水系角田地区土地改良区 事業課用水係主任主査

渡邊 賢

②『東日本大震災からの復旧・復興状況について』

宮城県東部地方振興事務所農業農村整備部長

石垣利浩

## 大会宣言

東日本大震災から6年5ヶ月が過ぎ、沿岸部の被災地域においては農地の96パーセントが復旧し、復興交付金等を活用した大区画ほ場整備のもと農業法人を中心とする高収益農業経営が進んできている。本年度は宮城県が策定した『みやぎの農業・農村復興計画』の『再生期』最終年度となり、新しいステージとなる『発展期』へ向けて飛躍するための重要な年であり、震災から立ち上がり、活力に満ちた強くてしなやかな農業・農村のモデルを提示することは我々の責務でもあり、引き続き着実な進捗が求められている。

一方、内陸部においては、土地改良予算の大幅削減による工期の遅延は計画的・安定的な整備を困難にし、農家負担の増大を招き、農村における人口減少や農業従事者の高齢化と相まって営農の継続に対する重大な影響をもたらしている。

さらに、近年気候変動による豪雨災害が全国各地で頻発している中、災害防止対策に大きく寄与している農地や農業水利施設は、国土強靱化の面からもその重要性は増しているにも関わらず劣化・老朽化は進み、計画的な修繕・更新もままならず、農家は大きな不安を抱えながらの施設の保全管理を強いられている。

このような中であっても、我々には安心・安全な農産物の安定供給や、先人たちが心血を注いで造りあげてきた貴重な資産を適切に管理し、次世代に引き継いでいく責務があり、この責務を確実に遂行するために必要な予算の確保は我々の最重要課題である。

土地改良関係予算は平成28年度補正と平成29年度当初を合わせれば大幅削減前の水準に回復したものの、現場のニーズに適切に対応し安定的・計画的な事業推進のためには、米の直接支払交付金が廃止される平成30年度当初予算の所要額の確保が必要不可欠である。このため、沿岸部と内陸部の均衡ある県土の発展に向けて、被災地の再生に資する復興予算の獲得と農業農村整備事業予算の十分な確保を図るべく、我々は決して緩むことなく一致団結して闘い続けなければならない。

以上、本大会の総意に基づきここに宣言する。

平成29年8月31日

平成29年度 宮城県土地改良大会

## 「農業農村整備の集い」が開催されました — 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

去る11月15日（水）、東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、全国から農業農村整備事業関係者1,245名が参集し、全国土地改良事業団体連合会主催による「農業農村整備の集い — 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —」が、多数の国会議員のご臨席のもと盛大に開催され、本会からも伊藤康志会長をはじめ27名が参加しました。

はじめに、二階俊博全国土地改良事業団体連合会長（自民党幹事長）より、「静岡での第40回全国土地改良大会には、多くの農業農村整備事業関係者の方々に参加を頂き、盛大に執り行うことができましたことに、心から感謝申し上げます。私どもは予算の獲得、法整備等いろんな面で課題を常に持っている訳ですが、私は常に「闘う土地改良」でなくてはならないと思っております。本年度の予算は、補正予算を含め、大幅削減前の水準を確保することができました。これも一重に皆様方のご支援・ご尽力の賜物であり、進藤金日子議員のご活躍もめざましいものがありました。現在、土地改良は9月に施行された改正土地改良法を基軸に、新たな展開を図る大きな節目の時にあり、その具体化のための平成30年度予算の編成時期を迎えております。これらのことを考え、実りあるものとするためには、我々が前進のためにしっかり団結をして、この闘いを頑張らなければなりません。」と挨拶され、来賓として出席された齋藤健農林水産大臣、竹下亘自民党総務会長、塩谷立自民党選挙対策委員長、森山裕自民党国会対策委員長、井上義久公明党幹事長、進藤金日子都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問より力強いご祝辞が述べられました。

続いて、和歌山県南紀用水土地改良区、和歌山県みなべ町から事例発表がありました。最後に5項目からなる要請文が提案され、全会一致で採択し、第41回全国土地改良大会宮城大会の主催者を代表して、本会の伊藤康志会長のかけ声のもと、参加者一同によるガンバロウ三唱で集いを終了しました。



二階俊博全国土地改良事業団体連合会長の挨拶



農業農村整備の集いの様子

## 農業農村整備関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動を実施しました

### 東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会

去る11月16日（木）、東北・北海道土地連連絡協議会による要請活動を実施しました。

当日は、各道県土地連の会長・副会長並びに専務理事等が参集し、齋藤健農林水産大臣・政務三役・事務次官以下同省担当部局及び土井亨復興副大臣以下復興庁担当部局、更には財務省の大鹿行宏主計局次長以下担当部局に対し、平成30年度農業農村整備関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関し要請を行いました。

農林水産省では、齋藤大臣から『平成30年度予算の確保については熱心な活動をしていただき感謝する。予算も大詰めとなってきており、補正も含めてしっかり講じて参りたい。要請内容に応えられるよう全力を挙げて努力して参りたい。』とのコメントがありました。

復興庁では、土井副大臣から『復興に際しては、吉野大臣ともども地元の大員として頑張っ参りたい。予算も平成28年度から平成32年度において6.5兆円を確保して前に進めている。岩手県や宮城県の圃場整備と福島県の状況は違うが、現状を見ながらしっかり進めていきたい。東北地方は農村が良くなると地域が良くなるといし、農村が元気になってもらうことで日本の農村風景を守っていただき、農村の多面的役割も担ってもらうことが重要だ。』とのコメントがありました。

更に、財務省では、大鹿主計局次長から『財政状況が厳しい中で、出来る限りご要望に応えられるよう努力して参りたい。』とのコメントがありました。

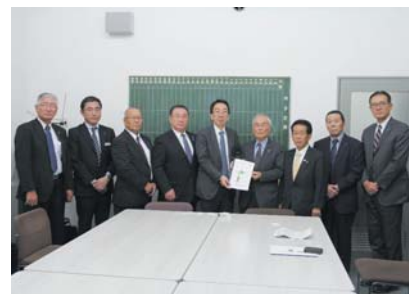
各省庁の要請活動後、各道県選出国會議員に対しても、同様の内容により強力な要請活動を実施しました。



農林水産省 齋藤健農林水産大臣  
（右から4番目）に要請する  
東北・北海道土地連協議会役員



復興庁 土井亨復興副大臣  
（左から4番目）に要請する東北・  
北海道土地連協議会役員



財務省 大鹿行宏主計局次長  
（中央）に要請する東北・北海道  
土地連協議会役員





# 第22回七夕まつり

## “こどもに夢を”

～絆がおりなす水土里の育み～

去る8月6日（日）から8日（火）の3日間にわたり、東北農政局、宮城県、水土里ネットみやぎの共催により「第22回七夕まつり“こどもに夢を”」を仙台市役所前の勾当台公園市民広場において開催しました。

このイベントは、会場を訪れる多くの一般の方々に、農業や農村の果たす役割や機能を知ってもらうために平成8年度から実施しており、今年度で22回目の開催となりました。

東北農政局・宮城県のブースでは、今年も特別企画として「見て・さわって・食べて復興米クイズ！！」として、東日本大震災で被災した農地の復旧・復興状況などをクイズ形式にしたパネルを展示し、クイズとアンケートに答えていただいた方に景品として宮城県産復興米（南三陸産ひとめぼれ、石巻産ササニシキ）をプレゼントしました。



見て・さわって・食べて復興米クイズ

水土里ネットみやぎのブースでは、「生きものふれあいコーナー」・「笹舟づくり体験コーナー」・「団扇・絵はがきお絵かきコーナー」・「現場技術体験コーナー」を企画・展示し、多くの一般の方々に“見て・作る”体験をしていただきました。

「生きものふれあいコーナー」では、田んぼに生息するメダカやザリガニ、カエルなどを水槽で展示、また今年は絶滅の危機に陥っている「シナイモツゴ」や市街地ではあまり見ることが少ない「クサガメ」など、沢山の生きものを展示し、子供だけでなく大人にも見ていただき、興味を引いていました。

「笹舟づくり体験コーナー」では、農村地域の昔ながらの遊びを体験していただきました。外国人観光客も物珍しさに参加され、作り方の説明に耳を傾け笹舟づくりを体験していました。

「団扇・絵はがきお絵かきコーナー」・「現場技術体験コーナー」では、親子連れ、小・中学生のグループが参加され、終始大盛況のコーナーで、体験していただいた参加者には農業農村整備事業に関する資料、水土里ネットみやぎのグッズなども配布して広報活動も行いました。

8日の最終日は台風の接近に伴いイベントが中止となりましたが、2日間で1,400人を越える方が来場され、東日本大震災からの復旧・復興状況、農業・農村がもつ多面的機能などについて、多くの一般の方々に知っていただくことができ、大盛況に終わることができました。



生きものふれあいコーナー

笹舟づくり体験コーナー

団扇・絵はがきお絵かきコーナー

現場技術体験コーナー



## 平成29年度 海岸防災林再生支援植樹活動 「水土里ネットの森」 保育作業を実施しました

「水土里ネットの森」岩沼市寺島字川向地区（施工面積：0.055ha, 植樹本数：253本）

去る8月21日（月）、岩沼市寺島字川向地区において、海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」の保育・除草作業を名取土地改良区職員並びに本会職員総勢6名の参加のもと開催しました。

本地区は、平成27年10月24日に「水土里ネットの森」として、海岸防災林再生支援植樹活動を実施した地区であります。除草作業は、参加者が鎌で手作業し苗木を傷つけないよう丁寧に除草作業を行ない、1時間程で除草作業を終了しました。

除草作業終了後、生育状況を確認した結果、植樹した時は30cmだったクロマツが80cmとなり、順調な生育となっていました。



除草作業



除草作業終了後の風景



80cmまで生育したクロマツ

「水土里ネットの森」東松島市大曲浜地区（施工面積：0.26ha, 植樹本数：1,300本）

去る9月12日（火）、東松島市大曲浜地区において、海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」の保育・除草作業を東部支部管内の土地改良区役職員並びに本会職員総勢38名の参加のもと開催しました。

本地区は、平成29年7月6日に「水土里ネットの森」として、海岸防災林再生支援植樹活動を実施した地区であります。除草作業は、先ず鎌による手作業で苗木の周りを傷つけないよう丁寧に除草し、その後、草刈機を使用して周辺の雑草を刈り払い、1時間程度で除草作業を終了しました。

除草作業終了後、生育状況を確認した結果、植樹した時は30cmだったクロマツが40cmとなり、順調な生育となっていました。



除草作業



除草作業終了後の風景



保育作業参加者全員による集合写真

「水土里ネットの森」亶理町浜吉田地区（施工面積：0.47ha, 植樹本数：2,500本）

去る9月22日（金）、亶理町浜吉田地区において、海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」の保育・除草作業を仙台支部管内の土地改良区役職員並びに本会職員総勢90名の参加のもと開催しました。

本地区は、平成28年6月14日に「水土里ネットの森」として、海岸防災林再生支援植樹活動を実施した地区であります。除草作業は、先ず鎌による手作業で苗木の周りを傷つけないよう丁寧に除草し、その後、草刈機を使用して周辺の雑草を刈り払い、1時間程度で除草作業を終了しました。

除草作業終了後、生育状況を確認した結果、植樹した時は30cmだったクロマツが60cmとなり、順調な生育となっていました。



除草作業



除草作業終了後の風景



保育作業参加者全員による集合写真

## 平成29年度 土地改良区職員研修会を開催しました ～体制強化基本計画に関する検討及び考え方～

去る11月9日（木）、本会館5階大会議室において、県内30土地改良区職員46名の参加のもと平成29年度土地改良区職員研修会を開催しました。

この研修会は、土地改良区の運営基盤強化に資するため、新しい制度や取組事例などについて情報提供を行い、職員の資質向上と円滑な組織運営を図ることを目的に、毎年度開催しています。

今年度は体制強化基本計画に関する検討及び考え方について、ワークショップを行い、参加者は積極的に意見を出し合い有意義な研修となりました。

研修内容は次のとおりです。

研修内容	講師
体制強化基本計画の必要性	宮城県土地改良事業団体連合会総務部 会員支援班 渡辺浩一上席技術主幹（班長）
体制強化基本計画の趣旨等	東北農政局農村振興部 土地改良管理課 鈴木啓二土地改良指導官
132条検査の結果	宮城県農林水産部 農村振興課指導班 鈴木高朗課長補佐（班長）
体制強化基本計画に関する検討	ワークショップ
体制強化基本計画の事例紹介等	宮城県土地改良事業団体連合会総務部 会員支援班 渡辺浩一上席技術主幹（班長）



ワークショップの様子

## 平成29年度 土地改良区役員研修会を開催しました

去る12月13日（水）～14日（木）の2日間、大崎市鳴子温泉「鳴子観光ホテル」において、県内40土地改良区理事・監事126名の参加のもと平成29年度土地改良区役員研修会を開催しました。

この研修会は、土地改良区理事及び監事の資質向上を図り、円滑な組織運営並びに基盤強化に資するための情報提供を目的に開催しています。

今年度は、「土地改良法の一部改正について」や「個人情報保護法及び行政不服審査法の改正について」の情報提供をはじめ、組織運営基盤の強化に繋がる「体制強化基本計画の必要性について」等の研修を行い、熱心な質疑応答や関連する意見も活発に出されるなど、いずれも土地改良区にとって参考となる貴重な研修となりました。

日程	研修内容	講師
12/13	土地改良法の一部改正について	東北農政局農村振興部 土地改良管理課 鈴木啓二土地改良指導官
	個人情報保護法及び行政不服審査法の改正について	宮城県農林水産部 農村振興課指導班 鈴木高朗課長補佐（班長）
	体制強化基本計画の必要性	宮城県土地改良事業団体連合会 猪股直行技監
12/14	多面的機能支払いの取り組みについて	宮城県土地改良事業団体連合会 猪股直行技監
	「みやぎ水土里ネット女性の会（仮称）」の設立について	宮城県土地改良事業団体連合会 菅原喜久男参事



研修会の様子



## 平成29年度 ふるさと水と土基金全国研修会が開催されました ～宮城県中山間地域活性化推進協議会の会員が受講～

去る12月12日（火）～13日（水）の2日間、東京都渋谷区の「国立オリンピック記念青少年総合センター」において、ふるさと保全ネットワーク（全国土地改良事業団体連合会）並びに農林水産省の共催による「平成29年度 ふるさと水と土基金全国研修会」が開催されました。

この研修会は、地域住民活動活性化に関する推進指導、助言を行う「ふるさと水と土指導員」等の育成、能力の向上を目的として開催されたもので、本県からは、宮城県中山間地域活性化推進協議会の会員市町担当職員等5名が参加し、中山間地域等の活性化に係る情報の収集、会員市町相互の情報交換を行いました。

講演や事例紹介では、質疑応答で参加者から活発な意見交換が行われ、有意義で参考となる研修会でした。

研修内容は次のとおりです。

日 程	研修内容・講演	講 師
12/12	人口減少という「静かなる有事」 戦略的に縮もう！	河 合 雅 司 氏 (産経新聞社論説委員、大正大学客員教授)
	田園回帰の時代 ～地元の人と仕事を取り戻す～	藤 山 浩 氏 (一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所長)
	島根県における「ふるさと水と土基金」 の概要、取組事例、広報活動の紹介	池 田 功 一 氏 (島根県農林水産部農村整備課調整監) 渡 部 明 孝 氏 (島根県土地改良事業団体連合会常務理事)
12/13	「ふるさと水と土基金」活動事例の 紹介（富山県、長崎県）	澤 田 典 久 氏 (富山県氷見市 NPO法人速川活性化協議会)
		前 川 芳 徳 氏 原 田 賢 一 氏 平 田 末 雄 氏 (長崎県波佐見町 鬼木棚田協議会)
	意見交換会	県取組紹介説明者並びに活動事例紹介説明者



主催者挨拶  
(小林祐一全国土地改良事業団体連合会専務理事)



研修会の様子

## 第40回全国土地改良大会静岡大会が開催されました



静岡大会式典



主催者挨拶（二階俊博全国水土里ネット会長）

去る10月25日（水）、「“ふじのくに”で語ろう 土地改良が創る豊かな水土里を」をテーマに、「第40回全国土地改良大会静岡大会」が静岡県沼津市「ふじのくに千本松フォーラム プラサヴェルデ」にて、全国水土里ネット・水土里ネット静岡主催、農林水産省・静岡県・静岡県議会・沼津市・静岡県市長会・静岡県町村会・静岡県土地改良事業推進協議会・「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合・静岡県農業協同組合中央会・静岡県経済農業協同組合連合会・公益社団法人静岡県山林協会・静岡県漁業協同組合連合会・静岡県水産加工業協同組合連合会の後援のもと盛大に開催され、宮城県から県・土地改良区・本会職員を含め総勢69名が参加しました。

大会当日は、全国各地より約4,200名の水土里ネット関係者及び農業農村整備事業関係者が出席し、式典が始まりました。

式典では開催地である水土里ネット静岡の伊東真英会長の挨拶で始まり、主催者を代表して二階俊博全国水土里ネット会長が挨拶を述べ、川勝平太静岡県知事、大沼明穂沼津市長より歓迎の挨拶、来賓の谷合正明農林水産副大臣、杉山盛雄静岡県議会議長、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問進藤金日子参議院議員より祝辞をいただきました。

その後、土地改良事業功績者表彰式が行われ、本県からは小野寺衛涌谷町土地改良区理事長が農林水産大臣表彰、鈴木博石巻市北方土地改良区理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞され、本県関係者をはじめ、会場の出席者からの祝福の拍手につつまれました。



農林水産大臣表彰を受賞された  
小野寺衛涌谷町土地改良区理事長（左から2番目）



全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞された  
鈴木博石巻市北方土地改良区理事長（右から3番目）

続いて、室本隆司農林水産省農村振興局次長より「次世代につなぐ資産づくり」と題し基調講演が行われ、その後、静岡県の優良事例紹介として、清水農業協同組合、農業生産法人遠州森鈴木農園株式会社より事例紹介が行なわれました。

平成30年の第41回全国土地改良大会宮城大会として、次期開催県紹介・大会旗引き継ぎが行



なわれ、次期開催県（宮城県）のVTR映像紹介後、大会旗が高貝久遠全国水土里ネット副会長から次期開催県（宮城県）の亀谷久雄水土里ネットみやぎ副会長へ引き継がれ、次期開催県挨拶として亀谷副会長より、『第41回全国土地改良大会宮城大会は“先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に水土里の絆 復興の歩み”をテーマに平成30年10月16日に仙台市の隣、利府町にある「宮城県総合運動公園 グランディ21」にて開催いたします。全国各地から多くの皆様にお越しいただけるよう、心からお待ち申し上げております。』と挨拶されました。

最後に、池田藤平水土里ネット静岡副会長より閉会挨拶が行なわれ、大会式典の一切を終了しました。



高貝久遠全国水土里ネット副会長(左)から亀谷久雄水土里ネットみやぎ副会長(右)へ大会旗引き継ぎ



次期開催県（宮城県）挨拶  
亀谷久雄水土里ネットみやぎ副会長



大会会場内での記念撮影（ふじのくに千本松フォーラム プラサヴェルデ）

大会2日目の現地事業視察では、小山町・湯船原地区の富士小山次世代施設園芸拠点、三島市・源兵衛川（世界かんがい施設遺産）を視察しました。

小山町・富士小山次世代施設園芸拠点では、温室を維持するボイラーのコスト縮減として間伐材を原料とした木質バイオマスと重油を併用したハイブリット暖房や、ICTを活用した複合環境制御による生産性の向上・労務管理を行い、効率的な農産物の生産を行なっている内容について説明がありました。

世界かんがい施設遺産の三島市・源兵衛川では、三島市内を流れる全長1.5kmの農業用水路を水質保全のために農業者だけではなく、市民・行政との協働、企業の協力で源兵衛川の環境を守り、農業用水路としての利用だけではなく、子供達の学習の場、市民の憩いの場として機能している内容について説明がありました。

両施設とも環境に配慮した取り組みがなされており、本県から参加した土地改良区役員はメモを取りながら真剣に説明を聞き、質問するなど大変有意義な視察となりました。



【現地事業視察】小山町・湯船原地区の富士小山次世代施設園芸拠点



【現地事業視察】三島市・源兵衛川（世界かんがい施設遺産）



## 「みやぎ水土里ネット女性の会」を設立しました

去る12月26日（火）、本会館5階大会議室において、県内の「水土里ネット」、「水土里ネットみやぎ」に在籍する女性職員60名（全会員数119名）の参加のもと、「みやぎ水土里ネット女性の会」設立総会及び研修会を開催しました。東北・北海道では初めて、国内では山口県、千葉県、宮崎県、鳥取県、山梨県に次いで6番目の設立となります。

当日は、定刻午後13時30分より設立総会を開会し、伊藤康志（宮城県土地改良事業団体連合会会長）より、「女性の皆様の力を土地改良事業の中でも、主体的な役割を担って大いに活躍していただきたい」と挨拶し、来賓として出席された宮城県農林水産部次長の浅野直明様、「日本のひなた水土里ネット女子会」特別顧問の進藤優貴子様より心温まるご祝辞をいただきました。



伊藤会長の挨拶



宮城県浅野直明様の祝辞



進藤優貴子様の祝辞

設立総会では、仮議長に選任された石巻市北方土地改良区の高橋亜紀子様の議事進行により、「みやぎ水土里ネット女性の会」会則について、役員を選任について、平成29年度の事業計画について審議が行われ、参加者全員の賛同により承認されました。その後、初代会長として就任されました迫川上流土地改良区の今野美幸会長より、「みやぎ水土里ネット女性の会の設立に際し、先進地の千葉県や宮崎県の活動を参考に進めていきたいと思っております」と挨拶され、設立総会は無事終了しました。なお、役員選任の結果は次のとおりです。



設立総会の様子



今野会長の挨拶



「みやぎ水土里ネット女性の会」集合写真

### —役員名簿—

（任期：平成29年度～平成30年度）

- 会長 今野 美幸（迫川上流土地改良区）
- 副会長 平山 弘子（宮城県土地改良事業団体連合会）
- 幹事 山家 純子（あぶくま川水系角田地区土地改良区）
- 幹事 佐藤 美砂（仙台東土地改良区）
- 幹事 高橋 亜紀子（石巻市北方土地改良区）



星野恵美子参事の講演

続いて研修会を開催し、「水土里ネット那須野ヶ原」の星野恵美子参事より「女性の視点から真の土地改良を目指して」—究極の生き残り作戦—と題して講演をいただきました。最後に、情報交換として参加者全員による「茶話会」を開催し、各「水土里ネット」で行っている業務内容や家族の話など、女性ならではの盛り上がりの中、設立総会及び研修会の一切を終了しました。



茶話会の様子

# 「大規模災害時における情報共有ネットワークに関する協定」が8土地改良区間で締結されました

～国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）～

去る12月22日（金）本会館5階大会議室において、国営造成施設管理体制整備促進事業実施地区の県内8地区（角田地区、亶理地区、名取川地区、迫川沿岸地区、中田地区、河南矢本地区、大崎地区、迫川上流地区）に関わる8土地改良区（あぶくま川水系角田地区土地改良区、亶理土地改良区、名取土地改良区、迫川沿岸土地改良区、北上川沿岸中田地区土地改良区、河南矢本土土地改良区、大崎土地改良区、迫川上流土地改良区）により、「大規模災害時における情報共有ネットワークに関する協定」が締結されました。

この協定は、土地改良区間のネットワーク強化、地域防災を構築し、地震、風水害、その他の大規模災害が発生、又は発生する恐れのある時に、人員の派遣、資機材の提供を円滑かつ迅速に行い、被害の軽減と農業経営の安定を図ることを目的としています。

8土地改良区間での情報共有については、BBS（電子掲示板）やNTT災害用伝言板等の大規模災害時の通信規制を想定し、通信規制がされにくい「パケット通信」を基本としています。

今後は、国営造成施設管理体制整備促進事業を実施している8土地改良区間で円滑な情報共有が行なえるよう、BBSの整備や運用訓練を定期的に行い、県内全域で磐石な協力体制の構築に取り組んでいく予定です。



あぶくま川水系角田地区土地改良区  
亀谷理事長の挨拶



8土地改良区による協定書調印



調印を終え、握手を交わす



関係者と記念撮影



## 水管理システム「仙台東地区」中央管理所・仙台東土地改良区事務所建設工事の安全祈願祭並びに起工式が開催されました

去る9月1日（金）仙台市農業園芸センターにおいて、水管理システム「仙台東地区」中央管理所・仙台東土地改良区事務所建設工事の安全祈願祭並びに起工式が開催されました。

当日は、仙台東土地改良区の役職員並びに関係機関から約130名が出席し、本会からは伊藤康志会長（代理：高橋清隆専務理事）が出席しました。

仙台東地区は、仙台市若林区・宮城野区にまたがる都市近郊型農業地域で、東日本大震災によって津波や地盤沈下により甚大な被害を受けました。復旧・復興にあたっては直轄災害復旧事業や大区画化を主体としたほ場整備事業を実施しており、これに関連し新たな土地改良施設が造成されました。また、直轄災害復旧事業で造成された施設の管理は、管理人による人的操作による管理に依存しており、さらに施設管理人の高齢化や後継者不足といった問題も抱えていることから、将来に亘り適切な施設管理を行うことが困難な状況にありました。

このため、本事業において用排水管理の自動化及び情報監視を行うとともに、地域全体を総合的に管理するため、中央管理所よりネットワーク機器を介しての遠方監視、制御、データ収集を行い施設管理の省力化を図り、効率的な用水配分や災害等緊急時の迅速な対応が可能となる適切な管理体制を構築することにより、農業経営の安定化や営農省力化等を進め、仙台東地区の農業振興並びに安全で安心して暮らせる地域づくりに大きく貢献するための建設工事であります。

安全祈願祭では、水管理システム「仙台東地区」中央管理所・仙台東土地改良区事務所建設工事の安全を祈願するための神事が執り行われました。

起工式では、仙台東土地改良区佐藤稔理事長の式辞で始まり、仙台東土地改良区木村浩市副理事長より事業概要説明が行われました。

次に、東北農政局高居和弘農村振興部長、宮城県仙台地方振興事務所加藤睦男所長、仙台市伊藤敬幹副市長より祝辞が述べられました。

最後に、仙台東土地改良区伊藤憲一総括監事の謝辞により式典は閉会しました。



安全祈願祭の様子



起工式・鍬入れ式の様子



## 平成29年度インターンシップ事業を実施しました

本会では、大学等の学生が在学中に研修的な就業体験を行うことで職業観の確立や勉学への動機付けの一層の充実を図るとともに、その成果を就職後に能力として発揮することで、実社会への適応能力の高い、実践的な人材の育成につなげることを目的としたインターンシップ（現場実習教育）を実施しました。

大学からの受入（応募＝北里大学から1名）

<実施期間>

8月28日（月）～9月1日（金）までの5日間

<実施プログラム>

8月28日（月）	着任式、本会の概要、土地改良区等会員支援のあらまし、維持管理適正化事業の現地指導実習
8月29日（火）	換地・農地集積業務の概要、土地改良区における再生可能エネルギーへの取り組み
8月30日（水）	多面的機能支払制度の概要、農業集落排水事業の概要と現地視察
8月31日（木）	農業農村整備事業の調査計画、ほ場整備地区現場視察、地理情報システムの運用と管理
9月1日（金）	実習取りまとめ、意見交換



集落排水事業の概要説明



再生可能エネルギー現地研修

高校からの受入（応募＝小牛田農林高等学校から3名）

<実施期間>

10月3日（火）～10月5日（木）までの3日間

<実施プログラム>

10月3日（火）	オリエンテーション、本会の概要、農業農村整備事業の概要、農業施設見学
10月4日（水）	名鱈地区（排水路）測量実習（縦断測量・横断測量等）
10月5日（木）	名鱈地区（排水路）CADによる縦断図、横断図作成、マナー講習、意見交換



本会の概要、農業農村整備事業の概要説明



名鱈地区（排水路）測量実習（縦断測量）

## 第12回内川水土里の路ウォークが開催されました

去る10月7日（土）、大崎市岩出山の有備館森公園において、大崎土地改良区主催による「第12回内川水土里の路ウォーク～世界かんがい遺産 内川を歩こう!!!～」が宮城県北部地方振興事務所、大崎市の共催、水土里ネットみやぎの後援により、一般参加者を含め120名の参加のもと開催されました。このイベントは、大崎市岩出山地域を象徴する「内川（平成28年度に【世界かんがい施設遺産に登録】）」沿いを散策するとともに、農業・農村の多面的機能を多く的一般の方々に知ってもらうために、平成15年度から実施しているイベントであり、今年度で12回目の開催となりました。

当日は、朝から雨降りの天気ですべての生きもの調査が中止となりましたが、伊達政宗公生誕450周年を記念した甲冑コース、ダム見学コース、内川ウォークを予定通り実施し、降り続く雨にもかかわらず、終始和やかな雰囲気の中、イベントを終了しました。



開会式の様子



甲冑体験コース



ダム見学コース参加者集合写真



内川ウォーク



内川ウォーク



閉会式の様子



## 第29回宮城地区まつりが開催されました

去る10月29日（日）、仙台市青葉区宮城総合支所において、いきいき宮城地区推進協議会・仙台市青葉区宮城総合支所主催による「第29回宮城地区まつり」が開催され、仙台市大倉川土地改良区と水土里ネットみやぎ仙台支部の土地改良区役職員総勢14名が参加しました。

宮城地区まつりには、「21世紀土地改良区創造運動」の一環として、地域の方々に土地改良区の役割などを知っていただくことを目的に参加しています。水土里ネットのコーナーは、子ども遊び天国コーナーにテントを設置し、「稲わら輪投げ」、「水辺の生きものふれあいコーナー（ドジョウすくい）」、「野菜の重さ当てクイズ」、「豆つかみゲーム」等を行いました。当日はあいにくの雨でしたが、多くの地域の方々・子どもたちが立ち寄り、水辺の生きものと触れ合ったり、クイズに参加したりと賑わいを見せていました。「野菜の重さ当てクイズ」では、実際に野菜を持ち上げて重さを想定するなど、真剣な様子で考え込む場面も見られました。来場者にとっては、実際に見て、触ることで得られるものがあったのではないかと思います。



佐藤稔仙台支部長の挨拶



水辺の生きものふれあいコーナー



稲わら輪投げ

## 救命講習会を開催しました

去る8月22日（火）、仙台市青葉消防署より講師をお招きし、本会職員を対象とした「救命講習会」を本会館5階大会議室において開催しました。

初めに映像による救護措置の仕方を視聴し、その後、5～6人のグループに分かれて人形を用いた実技講習を行いました。

この「救命講習会」は正しい心肺蘇生法及びAEDの使用法を学び、いざという時の救命に役立てる為の講習であります。

午前の部に24名、午後の部に23名の47名が参加しました。



胸骨圧迫による心臓マッサージ

### <実技講習>

- ①胸骨圧迫による心臓マッサージ
- ②人工呼吸
- ③AEDの使用演習



AEDによる救命措置



## 防災避難訓練並びに情報伝達訓練を実施しました

去る9月1日（金）、本会館において防災避難訓練並びに情報伝達訓練を実施しました。

この訓練は、東日本大震災の教訓を活かし、台風、地震など緊急事態における適確な応急体制の確立と、職員の防災意識の高揚を図り、併せて平時の備えについて確認することを目的として、防災の日を機会に実施しました。

### <防災避難訓練>

- ①避難訓練 … 会館4階給湯室からの出火を想定し、会館前庭へ全職員が避難
- ②消火訓練 … 1階車庫にて消火器を使用した初期消火訓練  
本会に設置されている消火栓の取扱訓練

### <情報伝達訓練>

緊急時に本人及び家族の安否確認状況・周辺の被害状況についてEメールを使用した情報の共有を全職員で実施

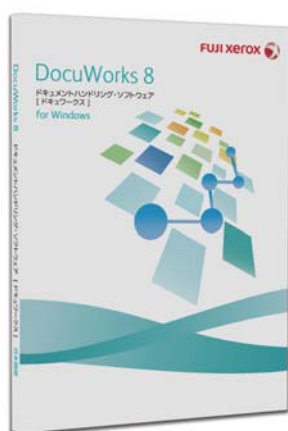


初期消火訓練



消火栓の取扱訓練

**FUJI XEROX** 



電子文書と紙文書を  
一元管理。

ドキュメントハンドリング・ソフトウェア

**DocuWorks 8**

<http://www.fujixerox.co.jp/>

富士ゼロックス株式会社

Xerox, Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

富士ゼロックス宮城株式会社

〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋1-1-23 カメイ五橋ビル TEL 022-221-2131 [www.fujixerox.co.jp/myx/](http://www.fujixerox.co.jp/myx/)

## ～平成29年 秋の叙勲～

去る11月3日付けで、内閣府から平成29年秋の叙勲受章者が発表され、本会関係者では、大和田清一氏（元大和町土地改良区理事長・元宮城県土地改良事業団体連合会監事）が旭日単光章を受章されました。

このたびの受章を心からお慶び申し上げ、益々のご活躍を祈念申し上げます。

### 旭日単光章



大和田 清一氏

元大和町土地改良区理事長  
元宮城県土地改良事業団体連合会監事

## ～平成29年 文化の日表彰～

宮城県は平成29年文化の日表彰受賞者を発表し、本会関係者では地方自治功労として佐々木一十郎氏（元名取市長・元宮城県土地改良事業団体連合会理事）、産業功労として菅原勸一氏（大崎土地改良区理事長）、高橋生喜氏（大崎土地改良区副理事長）が受賞されました。

このたびの受賞を心からお慶び申し上げ、益々のご活躍を祈念申し上げます。

### 地方自治功労



佐々木 一十郎氏

元名取市長  
元宮城県土地改良事業団体連合会理事

### 産業功労



菅原 勸一氏

大崎土地改良区理事長

### 産業功労



高橋 生喜氏

大崎土地改良区副理事長

# 土地改良区めぐり

## 鳴瀬土地改良区



### 土地改良区の概要

本土地改良区は、宮城県東部に位置し、石巻湾に注ぐ鳴瀬・吉田川河口部地域及び宮戸島を受益地とする区域で、平坦地が少なく中山間地的地形を呈しています。

沿革は、水系的に関係が深く吉田川右岸に位置する上下堤、野蒜、宮戸干拓の3土地改良区が昭和59年に合併し、鳴瀬町吉田川右岸土地改良区が設立されました。一方、並列して流れる鳴瀬川左岸には昭和29年に桃生郡鳴瀬町小野土地改良区が設立されていました。平成4年に至り、農地の汎用化による高度利用や大型機械化営農による生産性の向上等を図るため、大区画ほ場整備事業の早急な施行を望む声上がり、この実施のために土地改良区の経営基盤強化を図る必要が生じたため、旧鳴瀬町が中心となり町内1土地改良区を目標に掲げ推進した結果、町内2土地改良区が合併統合し鳴瀬町土地改良区が誕生しました。平成5年には野蒜(170ha)、小野(192ha)の両地区において県営ほ場整備事業が始まり、平成14年度に完了、農地の効率化利用や省力化、生産性の向上が図られています。

平成23年発生した東日本大震災では、大津波により沿岸部を中心に被災、受益地の60%(390ha)が浸水し、機場等土地改良施設にも甚大な被害を受けました。県、市等関係機関のご支援・ご協力により除塩事業、復旧事業更には平成26年に復興交付金による農地整備事業「奥松島地区(150ha)」が施行され、当年度末時点で未復旧農地は21haを残すのみとなるまで回復することができています。

また、管内上下堤・川下地区において、地域農業が抱える高齢化・後継者不足や排水不良及び作業効率等生産基盤における諸課題の改善と地域活性化を図るべく、地元有志が勉強会を重ね、平成29年1月に「ほ場整備推進委員会」が設立されました。その後、地元農業者全員から調査同意を得られ、県・市のご指導の下、委員会で協議検討を重ねた結果、平成30年度受託調査地区に内定を受けることができています。

今後の当土地改良区の歩みとして、体制強化基本計画の策定に絡み、近い将来石巻地区土地改良区統合を視野に、本年度において石巻地域統合整備研究会に参加しています。



中下排水機場（震災直後）



中下排水機場（復旧後）

#### 鳴瀬土地改良区の概要

所在地 東松島市小野字新宮前5番地

受益面積：639ha

組合員：375名 総代：30名 理事：8名

監事：2名 職員：4名 有期：1名

パート：1名



位置図



先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に  
水土里の絆 復興の歩み

第41回 全国土地改良大会 宮城大会

# 第41回 全国土地改良大会 宮城大会

平成30年10月16日(火) 宮城県総合運動公園 (グランディ21)

一目千本桜 [大河原町] 仙台七夕 [仙台市] 鳴子峡 [大崎市鳴子温泉] 日本三景 松島・五堂 [松島町]

主催： 全国土地改良事業団体連合会 宮城県土地改良事業団体連合会



## BV シリーズ Ver. 11 リリースしました。

BV CAD シリーズ+拡張土木オプションで広がる利用範囲！  
GPS位置情報が付加された写真を取り込み、撮影場所などを簡単に  
特定した図面を作成することができます。

### 拡張土木オプション

- ・面積集計機能が新たに追加。
- ・GPS写真配置
- ・SIMA-DM
- ・クローンID
- ・土量計算
- ・土木ハッチング
- ・赤書き
- ・トラバース/逆トラバース
- ・SIMAデータ
- ・座標一覧
- ・法面記号
- ・面積計算
- ・路面標識
- ・簡易断面

詳細は、当社ホームページへ <http://www.bigvan.co.jp/>

**株式会社 ビッグバン** 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-12 NKビル9F tel 03-3851-2227 fax 03-3851-2228

## 測量の新時代！

モバイル・マッピング・システム

## MMS でコストダウンと作業効率を向上

土地改良事業の基盤地図データの作成から、農道台帳、用排水施設アセットマネジメント、  
田面高の調査など道路を走行するだけで必要な空間情報（3次元情報）を取得し、短工期  
で高精度なデータをお客様に提供します。



**株式会社パスコ** 〒983-0864 宮城県仙台市宮城野区名掛丁 205-1 問合せ：022-299-9522



## 株式会社同和建材

〒989-6124

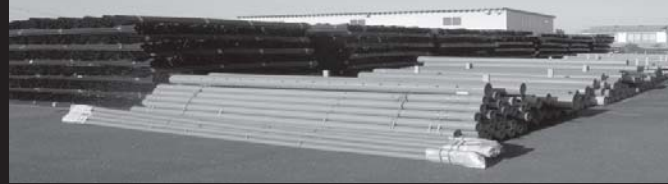
宮城県大崎市古川石森字天王山2-1

電話 0229-24-2755

FAX 0229-24-2756

- ☆ 農業用水資材販売
- ☆ 上水・下水道資材販売
- ☆ 暗渠排水資材販売
- ☆ 土木資材販売
- ☆ 各種2次製品販売

## より良い農業環境を



農業農村整備事業の調査・測量・設計

総合建設コンサルタント

## 株式会社 加美測量設計事務所

〒981-4265 宮城県加美郡加美町字矢越191番地

TEL 0229-63-5461 FAX 0229-63-5467

測量業：第(10)-8148号  
建設コンサルタント：建28 第7345号  
補償コンサルタント：補26 第4337号



## 2017年、お陰様で弊社は創業70周年を迎えました。

今後とも地域の発展に寄与し、お客様に御満足頂けますよう、設計・施工・メンテナンスまで一貫した体制で、より一層の努力を重ねてまいります。



水処理総合エンジニアリング  
**萱場工業株式会社**

本社：宮城県仙台市青葉区葉山町1番26号  
TEL：022-272-8686  
ホームページ：http://www.kayaba-ind.co.jp  
支店営業所：福島、郡山、青森、秋田、盛岡、石巻、大崎

◆◆平成29年度 本会職員の換地士合格発表◆◆

去る10月22日（日）に実施された平成29年度土地改良換地士資格試験において、本会職員1名が合格しました。

<合格者>

大沼 佳寿恵 主任技術主査（古川事業所）

◆◆本会役員の新任関係◆◆

理事 → 及 川 俊 榮（北上川沿岸中田地区土地改良区理事長）退任【H29.8.9】

◆◆本会会員代表者の就任関係◆◆

【仙台支部管内】

◇仙台市

奥 山 恵美子 → 郡 和 子 就任【H29.8.22】

◇大郷町

赤 間 正 幸 → 田 中 學 就任【H29.9.7】

【北部支部管内】

◇荒川堰土地改良区

（故）相 原 昌 昭 → 齋 藤 豊 就任【H29.11.21】

【東部支部管内】

◇登米吉田土地改良区

（故）佐々木 禧 市 → 加 藤 惣 吉 就任【H29.8.8】

◇北上川沿岸中田地区土地改良区

及 川 俊 榮 → 千 葉 武 男 就任【H29.8.10】



◆◆**本会会員市町村の役場移転について**◆◆

**【東部支部管内】**

◇南三陸町

平成29年9月3日に役場を移転しました。

〒986-0725 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田101番地

TEL 0226-46-2600 (代表) FAX 0226-46-5348

◆◆**本会会員土地改良区の吸収・合併について**◆◆

9月1日付けで下記土地改良区が吸収・合併されました。

**【仙台支部管内】**

◇宮城郡松島町手樽土地改良区

(合併先：鶴田川沿岸土地改良区)

**登米吉田土地改良区 佐々木禧市理事長 ご逝去**

登米吉田土地改良区佐々木禧市理事長(80歳)が8月1日午前7時6分、ご逝去されました。佐々木理事長は、昭和60年から平成17年までの20年間、登米郡登米吉田土地改良区理事・副理事長として歴任され、平成17年8月からは登米吉田土地改良区理事長に就任されました。

佐々木理事長は資性温厚にして、誠実、品行方正なる性格を身上とし、組合員より評価が高く、地元の土地改良事業に貢献され、平成28年春の叙勲では旭日単光章を受章され、去る8月5日に登米市迫町で執り行われた葬儀告別式には多くの参列者が訪れました。土地改良事業に携わるものにとって今回の訃報は心痛の極みであります。

ここに謹んで佐々木理事長のご冥福をお祈りいたします。

**荒川堰土地改良区 相原昌昭理事長 ご逝去**

荒川堰土地改良区相原昌昭理事長(75歳)が11月4日午後4時13分、ご逝去されました。相原理事長は、昭和55年から色麻町議会議員を9期務め、平成12年からは荒川堰土地改良区理事長を17年間、平成24年から色麻町議会議長を4年間歴任されました。

相原理事長は資性温厚にして、誠実、品行方正なる性格を身上とし、組合員より評価が高く、地元の土地改良事業に貢献され、平成29年春の叙勲では旭日双光章を受章され、去る11月10日に色麻町で執り行われた葬儀告別式には多くの参列者が訪れました。土地改良事業に携わるものにとって今回の訃報は心痛の極みであります。

ここに謹んで相原理事長のご冥福をお祈りいたします。

# 連合会日誌

	開催日時	主催者名	行事名	開催場所
8月	8月3日~8月18日	宮城県多面的機能支推進協議会	平成29年度 多面的機能支に係る活動支援研修会	宮城県内4会場
	8月6日~8月8日	東北農政局、宮城県、本会	第22回七夕まつり “こどもに夢を”	勾当台公園（仙台市）
	8月22日	本会	救命講習会	本会館
	8月31日	本会	平成29年度 宮城県土地改良大会	仙南芸術文化センター（柴田町）
9月	9月1日	仙台東土地改良区	水管理システム「仙台東地区」中央管理所・仙台東土地改良区事務所建設工事安全祈願祭・起工式	仙台東土地改良区
	9月1日	本会	防災避難訓練並びに情報伝達訓練	本会館
	9月7日~9月11日	第11回全国和牛能力共進会宮城県実行委員会	第11回全国和牛能力共進会	夢メッセみやぎ（仙台市）
	9月7日~9月8日	東北・北海道土地連絡協議会	平成29年度 事務主任者会議	ホテルリステル猪苗代（福島県）
	9月12日	本会、水土里ネットみやぎ東部支部	海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業	東松島市
	9月14日~9月16日	本会	平成29年度 土地改良区体制強化事業財務・会計実践向上研修（第1回）	本会館
	9月22日	本会、水土里ネットみやぎ仙台支部	海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業	亘理町
	9月27日	本会	平成29年度 水土里ネットみやぎ研修会	ホテルメルパルク仙台（仙台市）
10月	10月2日~10月3日	東北・北海道土地連絡協議会	平成29年度 第2回事務責任者会議	母畑温泉 八幡屋（福島県）
	10月3日~10月6日	本会	平成29年度 インターンシップ（小牛田農林高等学校）	古川事業所
	10月7日	大崎土地改良区	第12回内川水土里の路ウォーク	大崎市
	10月18日	東北・北海道土地連絡協議会	平成29年度 東北・北海道ブロック管理主任者会議及び土地改良区体制強化事業管理専門指導員会議	ホテルメトロポリタン秋田（秋田県）
	10月19日~10月20日	ため池フォーラムinくまもと実行委員会	2017ため池フォーラムinくまもと	ホテル熊本テルサ（熊本県）
	10月25日	全土連	都道府県土地改良事業団体連合会会長等会議	静岡県沼津市
	10月26日~10月28日	全土連、静岡土地連	第40回全国土地改良大会静岡大会	静岡県沼津市
	10月26日	本会	平成29年度 土地改良区体制強化事業財務・会計実践向上研修（第2回）	本会館
	10月28日	本会	第3回理事会	本会館
	10月30日~10月31日	東北・北海道土地連絡協議会	平成29年度 東北・北海道土地連絡協議会技術主任者会議	飯坂ホテル聚楽（福島県）
11月	11月7日~11月13日	本会	水土里ネット 議員懇話会との意見交換会	宮城県内4会場
	11月9日	本会	平成29年度 土地改良区職員研修会	本会館
	11月15日	全土連	水土里ネット 広報女性部会【東日本】	砂防会館（東京都）
	11月15日	全土連	「農業農村整備の集い」-農を守り、地方を創る予算の確保に向けて-	シェンパッハ・サポー（東京都）
	11月16日~11月16日	東北・北海道土地連絡協議会	平成30年度予算確保に向けた要請活動	農林水産省、他
	11月21日~11月22日	北海道・東北標準積算システム利用団体連絡会	平成29年度 北海道・東北標準積算システム利用団体連絡会	秋田地方総合庁舎（秋田県）
	11月22日	名取土地改良区	農林水産大臣表彰受賞記念祝賀会	サッポロビール仙台工場（仙台市）
	11月27日~12月8日	本会	平成29年度 第2回内部監査	本会館
	11月28日~12月1日	全土連	平成29年度 土地改良区体制強化事業施設維持管理研修会（後期）	ソニックシティビル（東京都）
	11月28日~12月1日	全土連	会計指導員育成研修	砂防会館（東京都）
11月28日~11月28日	水土里クラウド運用連絡協議会	平成29年度 第2回水土里クラウド運用連絡協議会	NTT空間情報株式会社（東京都）	
12月	12月6日~12月7日	本会	第4回理事会	大崎市
	12月7日~12月8日	本会	平成29年度 換地計画実務研修会	本会館
	12月12日~12月13日	全土連	平成29年度 ふるさと水と土基金全国研修会	国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）
	12月13日~12月14日	本会	平成29年度 土地改良区役員研修会	鳴子観光ホテル（大崎市）
	12月26日	本会	「みやぎ水土里ネット女性の会」設立総会並びに研修会が開催されました	本会館

# 今後の行事予定

2018	1月18日	本会	全国土地改良大会事務引継（静岡県土地連）	本会館
	2月13日	本会	第5回理事会	本会館
	3月20日	本会	第60回本会通常総会	本会館
	3月26日	全土連	第61回全土連通常総会	砂防会館（東京都）

# 多機能・自動化で水管理を柔軟にサポート! SEKISUI

タイマー型、リモコン操作型、遠隔操作型の3つのラインアップで給水操作を自動化し、水管理を省力化。農作業の負担を軽減し、**高品質生産**を実現します。

自宅からPCで操作

外出先からスマホ・タブレットで操作

クラウドサーバー

水まわりくん

水まわりくんアプリ地図画面イメージ

水管理の見える化  
Webアプリで給水動作を確認!

グラフで動作確認

水管理省力化

大規模営農の実現

ICT化 (情報通信技術)

水田水管理省力化システム  
多機能型自動給水機

エスロン **水まわりくん**

近日発売予定

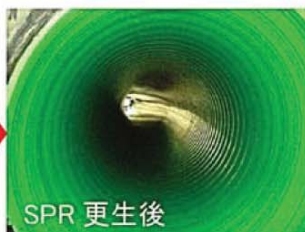
積水化学工業株式会社

環境・ライフラインカンパニー  
管材事業部 TEL.03(5521)0833

エスロンタイムズ on the Web <http://www.eslontimes.com>



## 非開削で既設管を 水密性抜群の管に スピード更生! 農業用SPR工法



管の形状  
口径・勾配に  
フレキシブルに  
対応!



日本SPR工法協会 東北支部

〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字車 39-3  
TEL・FAX 022-392-5981

日本SPR工法協会

TEL 03-5209-0130(代)  
ホ-ム-ズ <http://www.spr.gr.jp/>



●発行 2018年1月1日

水土里ネットみやぎ (宮城県土地改良事業団体連合会)  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号  
Tel 022-263-5811 (代表) / Fax 022-268-6390  
<http://www.mlw.or.jp>



●印刷

株式会社 イシカワ印刷  
〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代一丁目24-9  
Tel 022-238-0999 / Fax 022-235-9035